

受賞しました!! 第3回 日刊工業新聞社主催 モノづくり連携大賞で

情報通信工学科西研究室
知的財産本部
㈱キャンパスクリエイト
船井電機(株)
谷電機工業(株)
カメラ・光学機器メーカー各社

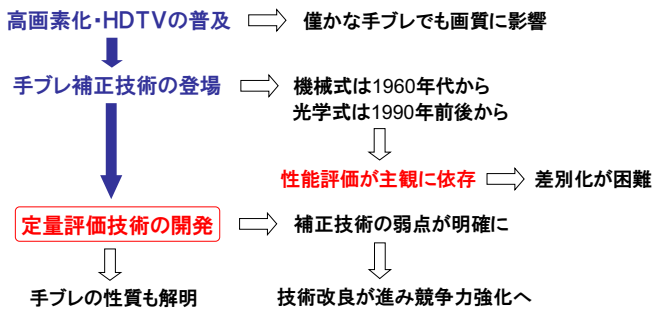
電通大グループ+協力企業が 日刊工業新聞社賞

デジカメ・ムービーの高分解能 手ブレ計測・補正評価システム

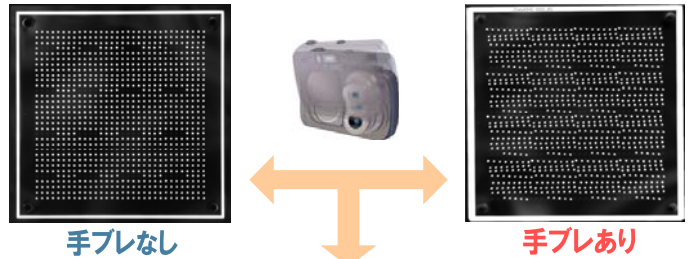
情報通信工学科西研究室が開発した測定技術の最大のポイントは、被写体として『動画のテストパターン』を用いたことである。手ブレの軌跡が3次的に求められるという仕組みにより手ブレ補正前後において手ブレの様子を詳細に調べることができ、主観が一切入ることなく補正効果を定量的に評価が可能に!

電気通信大学が海外1社を含むカメラ・光学機器メーカー10社へ技術移転。大学の技術が特定業種の製品開発に貢献する新しいモデル。技術移転機関(TLO)が教員サポートを付けたソフトウェア契約の工夫も注目されています。

本技術の背景と位置づけ



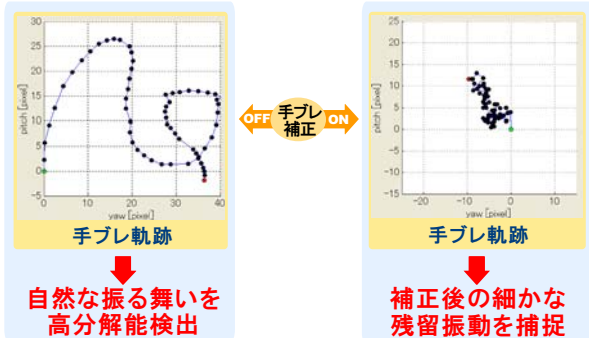
本技術の基本アイデア：動画テストパターンの撮影



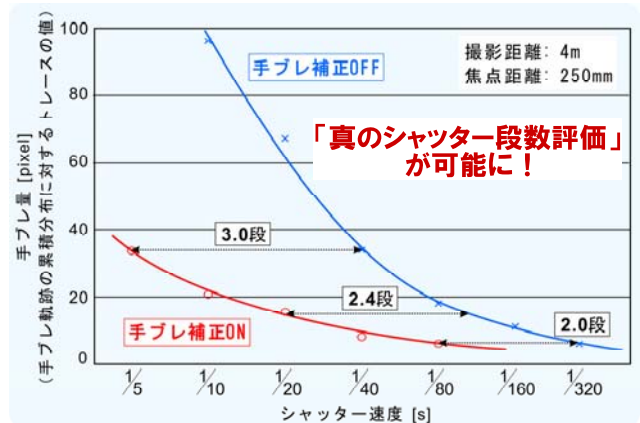
パターンの乱れ具合を測ることにより手ブレを3D軌跡として検出

本システムによる手ブレ検出・補正効果の評価例

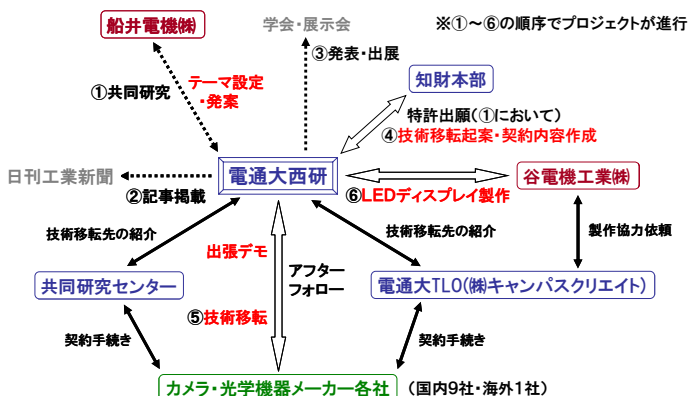
シャッター速度:0.2秒, 撮影距離:4m, 焦点距離:250mmで撮影



定量化



開発から技術移転までの経緯



本技術の市場性・今後の展望

本手ブレ計測システムの活用:

- カメラメーカーでの補正装置の検査・評価用ツール・製造ラインでの品質管理に
- ユーザーにおいてカメラ製品選択の基準・手ブレの矯正トレーニング用として
- カメラ販売店でのデモンストレーションに

某社ネットニュースにおいて、2007年の年間アクセスランキング「ものづくりとIT」部門で2位と4位を獲得

今後の展望:

- 標準化への可能性
- 他の分野への応用可能性

計測・評価技術 ⇨ 公益的立場にある大学ならではの貢献